

年末例会報告

2017年12月23日(金) 13時から16時30分

27名の会員が参加し、しげい病院5階のかわせみホールで行いました。7名の方のスライドでの発表があり、その後、参加者からの近況報告、懇親会と続きました。



◆スライド映写発表要旨◆

①「ブナ林の蝶フジミドリシジミ」 三宅誠治 氏

フジミドリシジミはブナ林に生息する蝶ですが、岡山県での記録は少なく、私が生息調査を思い立った2010年までに報告された明確な生息地は18か所でした。その後に1か所が追加されましたが、情報不足には変わりありません。私は、6シーズンで100日余り、県下のブナ林で生息調査を行った結果、記録のあった19か所すべてで再確認すると共に、新たに125か所で生息を確認しました。この結果、フジミドリシジミは、岡山県ではこれまで考えられていたような希少な種ではないことが判明しました。



② 「笠岡のウラギンスジヒョウモン」 藤本徹哉 氏

本種は棲息環境(草原)の減少によって全国的に減少傾向にあり特に西日本で著しいとされている。県内での記録も、2000年以降となると極めて少なく、RDBの記述を裏付けているかに見える。しかし、笠岡市周辺では草原など皆無にもかかわらず放棄田を拠点に点々と生息しており、耕作地の蝶として一定の地位を築いている。直近4シーズンの観察に基づき、棲息域、環境、生態などの現況を報告する。



③ 「2017虫のアルバムから」 青野孝昭 氏

2017 年中に撮った昆虫写真から、イトトンボ 4 種 (グンバイトンボ, モートンイトトンボ, ベニイトトンボ, アオモンイトトンボ), サナエトンボ 3 種 (ダビドサナエ, アオサナエ, オナガサナエ), 全身が赤いトンボ 5 種 (ハッチョウトンボ, ショウジョウトンボ, ミヤマアカネ, ナツアカネ, コノシメトンボ), 印象に残ったトンボ 4 種 (ナニワトンボ, タイリクアカネ, チョウトンボ, ウチワヤンマ), チョウ 2 種 (ミドリシジミ, アオスジアゲハ), バッタ目 4 種 (カワラバッタ, コノシタウマ, ヤマトマダラバッタ, ツチイナゴ), 日本未記録種クモバチ一種など 4 種 (*Lissocnemis brevipennis*, カワラハンミョウ, ヒメキンイシアブ, ヤツデハマダラミバエ) をプレゼン。



④ 「クロセセリ 笠岡へ進入か？」 岡野貴司 氏

山口県から広島県に進入したクロセセリの東進が続き、岡山県に迫ってきていた。そこで今年、期待を込めて観察を続けたところ、笠岡市西部で目撃・採集することができた。5月の1化から9月の4化まで確認しており、特に3化は個体数も多かった。定着している可能性が高いと考えている。岡山県では過去 2007 年と 2016 年に記録があるが、いずれも遇産蝶、または迷蝶とされている。



⑤ 「今年撮影した蝶のなかから」 中村具見 氏

県内各地で撮影した中で、クロアゲハ無尾型をはじめ、自然状態におけるスミナガシの蛹、久しぶりの吉備高原のゴマシジミ、分布拡大中のクロセセリ等、個人的に興味深いと思われる種のほか、継続的に観察しているヒサマツミドリシジミの生態について報告した。



⑥ 「クロアナバチの行動観察」 大森 斉 氏

8月から9月にかけて、自宅の庭に多くのクロアナバチが出現し、巣穴を掘っていた。彼らの掘りだす土の量は、体重の1000倍以上に達する。獲物である直翅目（クビキリギス、クダマキモドキなど）を狩ってきて、卵を産み付け、子孫を育てる。獲物を見つける能力、針を刺して獲物を麻痺させる行動、間違えず巣穴に戻ってくる行動、など一連の行動の正確さには驚くべきものがある。獲物をどのように認識しているのか、など、興味深い行動を、動画撮影を通して調べてみた。



⑦ 「博物館の寄贈標本について」 奥島雄一 氏

いわゆる団塊の世代の高齢化に伴い、収集者が手放す昆虫標本が増えている。これらのコレクションは古き良き時代の貴重な標本を多数含んでおり、博物館において継承されることが望ましい。一方、世の中は人口減時代に突入し、自治体の税収は減り、公立博物館の運営はさらに厳しくなることが予想される。寄贈者から寄せられた大切な標本が安全に末永く保管されるために、博物館に寄贈する標本の条件と寄贈された標本の利用についてお願いしたい。



< 1年間をふり返って >

★カミキリムシ中心に昆虫観察を楽しんでいます。1月～3月は、冬枯れの山で越冬中のタテジマカミキリを調査しました。6月に一泊懇親会に参加し、夜間採集を経験できたのは貴重な体験でした。8月から9月にかけて自宅の庭に多くのクロアナバチが出現し、巣穴を掘っていたので、暑い中、彼らの行動を観察し動画を撮影しました。（大森 斉）

★採集に行く機会が少なくなりました。その代わりに過去の採集品を見直して、今になってようやく同定できるようになった種類を探しています。島や異なった環境を求めて行きたいと思っています。（山地 治）

★今年の4月から岡山市に引っ越してきました。会員外ですが、双翅目昆虫の分類と生態が専門分野であり、今後は岡山県の双翅目昆虫相を調査したいと考えております。よろしく申し上げます。（吉澤 聡史）

★今年は、地元の吉備中央町（吉備高原都市）竹部・吉川地区～湯山・加茂市場地区の昆虫相（2010年～2012年）を作成し、倉敷昆虫同好会事務局へ寄贈文献として送付いたしました。今後の岡山県の昆虫相の解明に少しでもお役に立てていただければ幸いです。（木下 義久）

★定年退職を機会に、埼玉県から玉野市にUターンしてきました。岡山県南の蝶を中心に調べたいと思っています。約40年ぶりに再入会しました。（加門 昭徳）

初めて例会に参加させていただきました。これまで岡山市街地のハエ類を調査してきました。「すずむし」への投稿ができるように頑張ります。（水元 誠）

★本年も、捕虫網は持たず、カメラで虫さんを撮ってきました。初めての虫さんを撮るのが一番の楽しみでした。でも、二度三度と出会う虫さんの方が多く、その場合、より良い写真をと願いつつ撮りました。撮っていると、採るだけでは気づかなかった生態が見えてくることも楽しみでした。(青野 孝昭)

★近年チョウ仲間が身近なフィールドの調査で大きな成果をあげており、これに触発されて県南部のチョウの調査に力を注いでいます。まだ結果は出ていませんが、今までの調査で手薄であった地域が沢山残っているなどと思っています。(岡野 貴司)

★自然史博物館の夏の特別展「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」には、大勢の方にお越しいただき、ありがとうございました。これからも昆虫の魅力を広く伝えていきたいと思っておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。(奥島 雄一)

★居住地の総社市昭和地区の甲虫相解明も 12 年になり、同一地域の調査を継続していると次々と新しい種が記録され 1550 種を超えました。2017 年では比較的大形のオオツノクモゾウムシ (FIT による)、オオモンキゴミムシダマシなどの県内初記録種や県南では珍しいホオアカオサゾウムシが採れました。このように毎年新しい種が加わることが調査継続の励みになっています。(岡本 忠)

★昆虫たちは今休眠中ですが、今年はホタルの養殖をがんばってみます。カワニナ稚貝の飼育から始めますが、子どもたちとの「環境について」の学びを楽しみにしています。矢掛町宇内は昔から「宇内ボタル」で有名な所です。(川上 義弘)

★一畑で見つけたアレっ！と思った虫たちー 我が家に隣接した 1 アール程の小さな畑で様々な昆虫と出会った。昨年植えたイチジクからはイシガケチョウ 2 頭が羽化した。ベニスズメやクロコノマチョウとの出会いも思いがけないものだった。(脇本 浩)

★今年も岡山県内で水生昆虫を調査しました。まだ出会えていない虫や行くことができているエリアもあるため引き続き調査に行って、年末ぐらいには何らかの取りまとめができればと思っております。(江木 寿男)

★ここ数年は、ベニイトトンボの生態を記録しています。しかし、調べれば調べるほど、調べたいことが増え、2018 年のシーズンにも調査を継続します。「今年こそやり切って皆さんにご報告します。」と言っておきます。(守安 敦)

「(参加者名) 山地治、津田和良、三宅誠治、加門昭徳、青野孝昭、守安敦、武田雅生、中村具見、三宅哲人、脇本浩、奥島雄一、岡野貴司、木下義久、川上義弘、大森斉、武田寛生、野嶋宏一、水元誠、吉澤聡史、渡辺昭彦、中野一成、末宗安之、小川道博、江木寿男、神田佐奈恵、藤本徹哉、岡本忠、小橋理絵子、以上 28 名」

《 倉昆一泊調査会 》

調査と懇親を目的に、一泊調査会を下記の要領で開催致します。参加希望者は、担当幹事までご連絡下さい。

調査対象地域 新見市大佐周辺

日 程 平成 30 年 7 月 7～8 日 (土、日)

※ 宿泊者は午後 6 時頃には宿泊場所にお集まり下さい。

宿泊場所 「雄山の家」 新見市大佐大井野 1193-1 ☎ 0867-98-3676

宿泊料 一人 2,500 円 (素泊まり)

宿では食事の提供をはじめ各種サービスがありません。必要なことはすべて自分たちで行います。サバイバルと言うほどではありませんが、自分のことは自分で、また各自の行動には他者の迷惑とならないよう責任を持って下さい。宿は民家と同じ作りで、風呂やキッチン、布団などが付いています。食事は、調理も出来ますので各自でご用意下さい。詳しくは、「大佐 雄山の家」でホームページを検索して下さい。



定員 (20 人) に達するまでは参加を受け付けますが、一応の目安として 6 月 30 日を締め切りといたします。悪天候でなければ、夜間に燈火採集を行います。ただ、自然林に囲まれた山中ではなく、植林や耕作地に面した高台のため、大きな期待は出来ないと思われます。行き帰りの交通や採集はフリーとします。

三宅 : miya@tamano.or.jp

山地 : monticarabus@gmail.com

★幹事の改選結果報告の訂正★

KURAKON83 号でお知らせしました、2016~2017年度幹事改選の結果ですが、任期が間違っておりましたのでお詫びいたします。正しくは2016~2018年度になります。役員改選は2019年度になりますのでよろしくお願いいたします。

===== 倉敷市立自然史博物館の催しもの案内 =====

◎特別陳列「新着資料展<富山哲夫チョウ類コレクション>」

富山哲夫チョウ類コレクション (世界のチョウ 7,348 点) を初公開します。

◆会期 : 2018 年 4 月 14 日 (土) ~ 6 月 17 日 (日)

◆会場 : 自然史博物館 3 階特別展示室

◆料金 : 通常料金 (一般 : 150 円, 大学生 : 50 円, 高校生以下, 65 歳以上の方 : 無料)

◎自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年春」

◆日時 : 2018 年 4 月 14 日 (土) 10 時 ~ 12 時 (受付 9 時 30 分 ~ 10 時)

◆集合場所 : 倉敷みらい公園管理事務所 (倉敷駅北側の商業施設の間) 北側の東屋

◆申込み : 4 月 13 日 (金) までに電話・ファックス・ハガキなどで自然史博物館へ。

◆持参品 : 筆記用具, 観察用具, 飲料水, 雨具, 救急用品 など

◆交通案内：倉敷駅北口より徒歩約5分。駐車場は現地商業施設分と公園南側の道路向かい分があります（どちらも有料）。

◆備考：雨天決行。ただし、警報発令時は中止。天候があやしい場合は当日朝8時以降、友の会携帯電話（090-8242-3896）までお問い合わせください。小学生以下の方は解散時まで保護者同伴でのご参加をお願いいたします。

◎むしむし探検隊入隊説明会&オリエンテーション

隊員は、オリエンテーション→野外探検（昆虫調査）→標本整理→雑誌への投稿、博物館での展示・発表・ボランティア活動等の一連の体験を通して、昆虫に関する専門知識と技術を学びます。昆虫の専門家を目指す人向きのプログラムです。

◆応募資格：原則として以下①～⑥の条件をすべて満たしていること。①小学校5年～高校3年生。②昆虫に強い興味がある。③年間予定のすべてに参加できる。④集合場所（自然史博物館か JR 倉敷駅）まで自力で来られるか、保護者の送迎がある。⑤参加費用実費（保険料、交通費など）を自己負担できる。⑥長時間の野外調査が可能な体力があり、行動に自己責任を持てる。

◆申込み：2018年4月14日（土）までに電話などで博物館まで。

◆募集人数：10名程度

◆入隊説明会・オリエンテーション：

日時：2018年4月15日（日）、14～16時（受付13時30分～）（説明会終了後オリエンテーション）

場所：自然史博物館地階講義室

持参品：筆記用具、保険料400円（隊員になった方のみ集金、野外活動2回分）

◆年間予定：

4月15日（日） 入隊説明会・オリエンテーション

6月10日（日） 第1回探検（笠岡市六島で昆虫採集）

8月5日（日） 第2回探検（総社市で昆虫採集）

9月2日（日）～16日（日）「鳴く虫サロン」出品

10月ころ 「しぜんしくらしき賞」作品出品

11月3日（土・祝） 「自然史博物館まつり」で昆虫コーナー開設

11月23日（金・祝）まで 会報「しぜんしくらしき」原稿提出

3月21日（木・祝） 研究発表会

年間 博物館または博物館友の会の行事（観察会・講座・相談会・ワークショップ等）で補助スタッフ（3回以上）

◆備考：途中でキャンセルされても保険料は返金できません。「探検」に保護者は同伴しません。数名の指導者（隊長・副隊長）が同行します。博物館友の会と共催です。初めて参加をお考えの場合は、できるだけ保護者の方も入隊説明会へご参加ください。副隊長・カメラマン（大学生以上）も募集しています。お問い合わせは自然史博物館の奥島まで。

◎自然観察会「早島の春」

- ◆日時：2018年4月22日（日）10時～12時15分（受付9時30分～10時）
- ◆集合場所：岡山県都窪郡早島町矢尾1049 早島町ふれあいの森公園 研修棟前
- ◆持参品：筆記用具，観察用具，昼食（必要な方のみ），飲料水，雨具，救急用品など。
- ◆申込み：4月21日（土）17時までに電話などで自然史博物館へ。
- ◆交通案内：公共交通の便が良くないので自家用車などでご参加ください。早島ふれあいの森公園に駐車場があります。
- ◆備考：雨天決行。ただし，警報発令時は中止。天候があやしい場合は当日朝7時以降に友の会の携帯電話（090-8242-3896）までお問い合わせください。小学生以下の方は保護者同伴をお願いします。歩行コースは自然公園内ですが，階段や坂道のコースがありますので，ベビーカーでの参加はできません。トイレは集合場所にあります。なお，続けて行われる講演会にご出席の方は弁当をご用意ください。

【講演会】「集めた貝の話」

- ◆日時：2018年4月22日（日）13時～13時30分（受付12時45分～）
- ◆会場：早島町ふれあいの森公園 研修棟
- ◆講師：榎本敬（友の会会長）
- ◆備考：研修棟の床に座ることになりますので，冷え対策などで必要な方は持ち運びのできる座布団などをご持参ください。

◎自然と標本のGWスペシャル

ゴールデンウィークは自然史博物館であそぼう！

- ◆期間：2018年4月28日（土）～5月6日（日）（5月1日（火）休館）
- ◆場所：自然史博物館内
- ◆料金：通常料金（5月5日は無料開放日），材料費が必要なものもあります。
- ◆日程：
 - 4月28日（土） 11時～，15時～：昆虫お宝探検
 - 4月29日（日・祝） 11時～，15時～：昆虫お宝探検
10時～12時，13時～15時：植物の匂いあてクイズ，缶バッジ作り，鱗粉転写しおり作り 13時～15時30分：創作手作り教室
 - 4月30日（月・休） 10～12時，13～15時：植物の匂いあてクイズ，缶バッジ作り，鱗粉転写しおり作り 11時～，15時～：昆虫お宝探検
 - 5月3日（木・祝） 10～12時：昆虫標本作り体験（冷凍した昆虫の持参も可） 10～12時，13～15時 缶バッジ作り，鱗粉転写しおり作り 14時～：昆虫クイズ王選手権
 - 5月4日（金・祝） 10時～，12時～，13時～，14時～，16時～（各回先着20名）：植物の収蔵庫見学 10～12時，13～15時：缶バッジ作り，鱗粉転写しおり作り 11時～，15時～：昆虫お宝探検
 - 5月5日（土・祝） 10時～12時，13時～15時：遊ぼう！みんなの動物ラボ，缶バッジ作り，鱗粉転写しおり作り 15時～：動物お宝探検
 - 5月6日（日） 11時～11時30分：化石探し

◆その他：博物館&友の会 GW プレゼントキャンペーン，リサイクルコーナー（なくなり次第終了）

◆備考：すべて当日受付。数に限りがあるものは，なくなり次第終了します。

倉敷市立自然史博物館 〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

メール：musoku@city.kurashiki.okayama.jp 電話：086-425-6037

TEL 086-425-6037（奥島雄一 倉敷市立自然史博物館）

【退会】

No.507 佐々木良一

【住所変更】

No.482 松田 隆嗣（長野市）

No.492 藤澤 侑典（岡山県里庄町へ）

【交換文献】

（2017.11.24～2018.3.23 受付分）

ホシザキグリーン財団研究報告(21)	ホシザキグリーン財団
駿河の昆虫(259)(260)	静岡昆虫同好会
蛾類通信(283)(284)	日本蛾類学会
TINEA 24(1)	〃
ちょうしゅう便り(33)	山口むしの会
インセクト 68(2)	とちぎ昆虫愛好会
KORASANA(87)	久留米昆虫研究會
MUSHI MEZURU(44)	鈴木 裕
ゆらぎあ(35)	鳥取昆虫同好会
誘蛾燈(230),(231)	誘蛾会
とっくりばち(85)	石川むしの会
みちしるべ(54)	岡山昆虫談話会
Nature Study 63(11)～(12), 64(1)～(4)	大阪市立自然史博物館友の会
しぜんしくらしき(104)	倉敷市立自然史博物館友の会
へりぐる(38)	瀬戸内虫の会

<倉敷昆虫同好会 連絡先> 年会費 2,000円 郵便振替口座 01210-2-6927
〒710-0051 倉敷市幸町2-30 倉敷昆虫館内 倉敷昆虫同好会事務局
TEL. 086-422-8207(直通) FAX. 086-421-1991 E-メール kurakon@shigei.or.jp
開館：午前9時30分から午後5時まで（13:00から14:00は閉館）
休館日：月曜日（祝日・休日の場合は開館し、翌日が休館）、12月29日から1月3日